



<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p>	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p>  <p>勉学・協力・根性</p> <p>令和元年 11 月 21 日発行</p>
---	-----------------------------------	---



「学ぶ」ということ！

校長 前田 浩之

「『型』と『形』は英語でなんというや？」

ある市の教育委員会に生涯学習担当者として勤めていたときに、当時の教育長がそう尋ねてきました。英語と日本語は、意味が必ずしも完全に一致する訳ではありません。そこで、どういう具合に使いたいのか聞くと、次のように話されました。

- ・「型」は鋳型（いがた）というように、同じものをさす。いくつもある。
- ・「形」は型に命や温もりを加えた独自のもの。一つしかないオリジナルだ。

なるほど。ならば、「型」は **model**（モデル）、「形」は **style**（スタイル）でしょう。と私は答えました。

二日後、市の生涯学習講座の閉講式があり、冒頭のあいさつで教育長は次のように講座生に語りかけました。

「師のモデルと同じ物が作れるようになったからといって、その人が師になれるわけではない。そのモデルに自分なりの命や温もりを加え、あなたにしかないスタイルに昇華させたときに、あなたがたには師を名乗る資格が出てくる。生涯にわたって『学ぶ』ということは、そういうことではないだろうか。」

生涯学習講座で先生に教わりながら作った陶器などの作品に値段を付け、堂々と販売する講座生がいることを伝え聞いた教育長の苦言でしたが、モデルをスタイルに昇華させることが「学び」の本質であるという考えには、「なるほど。」と感じ入りました。

本校のかごしま県民週間にはたくさんの地域・保護者の方が来校され、児童・生徒の「学び」の様子を見ていただきました。特に文化祭は「学び」の成果を発表する機会であり、舞台発表・展示に子どもたちの **originality**（独自性）を見ることができ、うれしく思うところです。変化の激しい未来社会には **creativity**（創造性）が求められてきます。しかし、それを支える基礎・基本も大切です。基礎的・基本的な部分 **model** をしっかりと習得し、独自性 **originality** を加え、しっかりと自分のスタイルを確立させるまで「学び」を続けてほしいと思うところでした。

我々教職員も「学び」を続けています。文化祭での「笑点」をモデルにした大喜利はいかがでしたでしょうか。文化祭を盛り上げよう、一生懸命に「学び」を続けている子どもたちへのささやかなエールでしたが、「学び」の量が不足していたようです。子どもたちの頑張りに免じてご容赦ください。

文化祭の様子

小学校



職員



中学校



全校合唱



小学校陸上記録会



走り高跳びで二位に入賞した前濱太志君



11月後半～12月 主な行事予定

11/27(水)	奄美市中学校英語暗唱大会 (於:住用中) 奄美市中学校弁論大会 (於:東城中)
11/29(金)	スクールカウンセラー来校
11/30(土)	奄美市中体連ソフトテニス大会 (三儀山) ～12月1日(日)
12/6(金)	授業参観 学校保健委員会 学級PTA
12/14(土)	土曜授業 (シマ唄・シマグチ学習)
12/10(火)	(小)校内持久走大会 (中)校区一周駅伝競走大会
12/18(水)	愛護センター合同補導
12/20(金)	スクールカウンセラー来校
12/24(火)	二学期終業式